

今回の大平訪中中は、まさにそれが七〇年代最末期に実現したことによって、八〇年代アジアの国際政治の展開を告げるものとなった。今日のわが国をめぐる国際環境とわが国の国際的地位に照らして見るとき、日中関係の強化はもはや日中「国間関係の枠組み」にのみとどまり得ないことは明らかである。

思えば、日中平和友好条約の締結以来、アジアの国際政治は極めて激しく流動化した。そうしたなかで、ソ越条約の締結と、ソ連のわが国北方三島への軍事基地建設は、日中「反霸権」連合へのソ連の戦略的報復であったと言える。が、こうしたきびしい国際関係の諸展開は日中条約締結の際に当然予測しえたことである。にもかかわらず、わが国はこれらの国際環境を無視して「日中」の中でひたすら日中に賭け、その結果生じた厳しい現実に対して、近ごろ「ソ連の脅威」がしきりに強調されるといふのは、まったく矛盾し、倒錯した論理だといわざるを得ない。

この間、米中国交樹立、中越戦争、中ソ友好同盟条約の廃棄など一連の出来ごとが起ったが、これらの展開は米日中の「反霸権」連合形成への衝動と、それに対抗するソ連の軍事戦略の著しい拡大をもたらしつつ、わが国は好むと好まざるにかかわらず、このよう

なパワーゲームの二極に組み込まれざるを得なくなってきた。今回の大平訪中において、首相はわが国が軍事的なコミットメントをしないことを表明したことは、当然であったとは言え、今日の国際情勢においては、日本が決定的に「反霸権」連合とコミットし、対外的な受けとめられることは避けられない。八〇年代の日本外交は、こうしたわが国の外交的選択への高い代償を支払いつづけていかなければならなくなるであろう。

当面の不言な未来はわが国が巨額の対中円借款を約束したあと、ブラウン米国防長官が近々訪中して中国への軍事的アコ入れというアメリカの対ソ対抗上の政策が明らかになり、第二次中越戦争が生じ、アジア情勢がインドシナ半島を中心に更に流動化し、ソ連の対アジア進出を誘い、アジアの緊張が更に高まるという図式であるが、こうした不吉な未来を否定するだけの保証はないのである。今回の大平訪中がベトナムへの強い対決姿勢を持すべきであるという立場から、中国はあくまでも世界戦略の一環として日中関係を考えていることの主旨を明らかにし、このように注目すべきである。

なかつたにせよ、大平訪中、ブラウ米国防長官訪中、華國鋒主席来日、そして次期米大統領の訪中といつた予想される図式の中で、米中の対ソ連合は更に強化されるであろうだけに、わが国の対ソ外交に拡大されることを考えたとき、それは決して無視しえない数字に

なかつたにせよ、大平訪中、ブラウ米国防長官訪中、華國鋒主席来日、そして次期米大統領の訪中といつた予想される図式の中で、米中の対ソ連合は更に強化されるであろうだけに、わが国の対ソ外交に拡大されることを考えたとき、それは決して無視しえない数字に

なかつたにせよ、大平訪中、ブラウ米国防長官訪中、華國鋒主席来日、そして次期米大統領の訪中といつた予想される図式の中で、米中の対ソ連合は更に強化されるであろうだけに、わが国の対ソ外交に拡大されることを考えたとき、それは決して無視しえない数字に

なかつたにせよ、大平訪中、ブラウ米国防長官訪中、華國鋒主席来日、そして次期米大統領の訪中といつた予想される図式の中で、米中の対ソ連合は更に強化されるであろうだけに、わが国の対ソ外交に拡大されることを考えたとき、それは決して無視しえない数字に

なかつたにせよ、大平訪中、ブラウ米国防長官訪中、華國鋒主席来日、そして次期米大統領の訪中といつた予想される図式の中で、米中の対ソ連合は更に強化されるであろうだけに、わが国の対ソ外交に拡大されることを考えたとき、それは決して無視しえない数字に

なかつたにせよ、大平訪中、ブラウ米国防長官訪中、華國鋒主席来日、そして次期米大統領の訪中といつた予想される図式の中で、米中の対ソ連合は更に強化されるであろうだけに、わが国の対ソ外交に拡大されることを考えたとき、それは決して無視しえない数字に

なかつたにせよ、大平訪中、ブラウ米国防長官訪中、華國鋒主席来日、そして次期米大統領の訪中といつた予想される図式の中で、米中の対ソ連合は更に強化されるであろうだけに、わが国の対ソ外交に拡大されることを考えたとき、それは決して無視しえない数字に

なかつたにせよ、大平訪中、ブラウ米国防長官訪中、華國鋒主席来日、そして次期米大統領の訪中といつた予想される図式の中で、米中の対ソ連合は更に強化されるであろうだけに、わが国の対ソ外交に拡大されることを考えたとき、それは決して無視しえない数字に

なかつたにせよ、大平訪中、ブラウ米国防長官訪中、華國鋒主席来日、そして次期米大統領の訪中といつた予想される図式の中で、米中の対ソ連合は更に強化されるであろうだけに、わが国の対ソ外交に拡大されることを考えたとき、それは決して無視しえない数字に

なかつたにせよ、大平訪中、ブラウ米国防長官訪中、華國鋒主席来日、そして次期米大統領の訪中といつた予想される図式の中で、米中の対ソ連合は更に強化されるであろうだけに、わが国の対ソ外交に拡大されることを考えたとき、それは決して無視しえない数字に

なかつたにせよ、大平訪中、ブラウ米国防長官訪中、華國鋒主席来日、そして次期米大統領の訪中といつた予想される図式の中で、米中の対ソ連合は更に強化されるであろうだけに、わが国の対ソ外交に拡大されることを考えたとき、それは決して無視しえない数字に

なかつたにせよ、大平訪中、ブラウ米国防長官訪中、華國鋒主席来日、そして次期米大統領の訪中といつた予想される図式の中で、米中の対ソ連合は更に強化されるであろうだけに、わが国の対ソ外交に拡大されることを考えたとき、それは決して無視しえない数字に

なかつたにせよ、大平訪中、ブラウ米国防長官訪中、華國鋒主席来日、そして次期米大統領の訪中といつた予想される図式の中で、米中の対ソ連合は更に強化されるであろうだけに、わが国の対ソ外交に拡大されることを考えたとき、それは決して無視しえない数字に

なかつたにせよ、大平訪中、ブラウ米国防長官訪中、華國鋒主席来日、そして次期米大統領の訪中といつた予想される図式の中で、米中の対ソ連合は更に強化されるであろうだけに、わが国の対ソ外交に拡大されることを考えたとき、それは決して無視しえない数字に

# 80年代の中国と日本

日中関係を世界政略のなかに位置づけよ

中嶋 嶺雄



(東京外国語大学教授)

- ◆ 言論人懇話会・運営委員並びに同人 ◆
- 【運営委員長】 賀賀健三
  - 【運営委員】 会田雄次 加藤寛 高坂正純 村松 吉村 正
  - 【同人】 会田雄次 阿川弘之 石川忠雄 坂垣 一 衛藤 清吉
  - 大平 善昭 加藤俊一 神谷 一 加藤 寛 勝田 吉太郎 賀賀
  - 健三 久保田 基子 高坂 正純 坂 本 邦 彦 佐藤 昌盛 鈴木 重
  - 信 三郎 藤島 泰三 三 好 武 藤 光 明 村 松 隆 村 松
  - 矢野 均 吉村 正 和田 敬美
  - 【事務局兼兼言論人主幹】 浅田 光正